

各 位

上場会社名	株式会社ウェッジホールディングス
代表者	代表取締役社長 田代 宗雄
(コード番号)	2388)
問合せ先責任者	取締役経営管理本部長 浅野 樹美
(TEL)	03-6225-2207)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,000	500	450	200	794.56
今回修正予想(B)	1,936	569	522	116	452.51
増減額(B-A)	△64	69	72	△84	
増減率(%)	△3.2	13.8	16.0	△42.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年9月期第2四半期)	1,871	310	291	185	882.15

平成23年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,100	1,000	950	400	1,589.12
今回修正予想(B)	4,000	1,000	950	280	1,059.95
増減額(B-A)	△100	—	—	△120	
増減率(%)	△2.4	—	—	△30.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年9月期)	3,699	802	761	369	1,597.52

修正の理由

平成23年9月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、売上高は前回発表を64百万円下回る19億36百万円を見込んでおります。これは、海外におけるファイナンス事業が好調だったものの、国内のコンテンツ事業及び物販事業において若干予算を達成できなかったことによります。営業利益は売上高の減少があったものの国内事業の損益分岐点が低下したことや、ファイナンス事業の高利益率が奏功し、前回発表を69百万円上回る5億69百万円を見込んでおります。経常利益も同様に前回発表を72百万円上回る5億22百万円を見込んでおります。四半期純利益はこれらの要因に加え、繰延税金資産の取崩し等により法人税等の負担が当初の想定を上回ったこと、並びに海外の利益比率が当初の想定よりも高く推移し少数株主利益による流出が増加したことから、前回発表を84百万円下回る1億16百万円を見込んでおります。

平成23年9月期通期連結業績予想につきましては、売上高は前回発表を1億円下回る40億円を見込んでおります。これは、上半期までの達成状況並びに東日本大震災の影響及び今後の消費活動の自粛や電力不足による供給活動の縮小等、先行きの見通しを保守的に評価したことによります。一方、営業利益及び経常利益は、国内事業の売上高減少による影響を、東南アジアで展開するファイナンス事業でカバーすることを想定していることから、前回発表と変わらずそれぞれ10億円、9億50百万円を見込んでおります。当期純利益は、上半期の達成状況を鑑み法人税等並びに少数株主利益の予想額を精査した結果、前回発表を1億20百万円下回る2億80百万円を見込んでおります。

以上